

日本図書館史年表

弥生時代
1959年
【編集復刻版】

監修／藤野幸雄（東京農業大学総合研究所客員教授・図書館情報大学名誉教授）

編集／田村盛一・天野敬太郎ほか

◎A5判・糸上製函・234頁

◎二〇一二年六月刊行 価格12,000円 ISBN978-4-907789-86-2

戦後、国立大学を中心とした

図書館年表

(暫定)

神本充吾・加瀬正巳 共同作成

国立大学関係事項

昭和20	(1945)
昭和21	(1946)
昭和22	(1947)
昭和23	(1948)
昭和24	(1949)
昭和25	(1950)
昭和26	(1951)
昭和27	(1952)
昭和28	(1953)
昭和29	(1954)
昭和30	(1955)
昭和31	(1956)
昭和32	(1957)
昭和33	(1958)
昭和34	(1959)
昭和35	(1960)

又昭和「終戦二周年」を記念
又昭和「新日本建設の教育方針」を発表
「戦時教育令」廃止
GHQ「婦人の解放、労働者団結、教育の自由主義、制政治力の解放、経済の民主化の五大改革建議令」
GHQ「日本教育制度に対する管理改革」を通告
GHQ「日本教育家・委員会二周年」を通告
「文部省分課規程中改正」を訓令、人文科学研究課、自然科学研究課および調査課を科学教育局に置く
米国防務使節団、米日
米国防務使節団、報告書及最高司令官に提出
米国防務使節団、米日
「帝國大学官制」「官立大学官制」「取貨養成諸学校官制」「官立高等学校官制」「官立専門学校官制」を公布
(東京帝國大学官制六所、大官制廃止、官立経済大学、備前三大学官制廃止、高等師範学校官制、文部省立諸大学官制廃止)
(各府賦課通制)「官立公用敷令」制定(「文官任用令」「帝國大学事務官」「官立大学事務官」「帝國大学司書官」及び「帝國大学司書特別任用令」廃止)
GHQ、米国防務使節団報告書を発表

1932-X 日本圖書史並ニ關係事項年代記

日本圖書史並ニ關係事項年代記

(III)

田村盛一 (Tamura-Moriichi)

昭和元年 吉田重房「筑紫紀行」ニヨリト當時大...
昭和2年 浪華「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和3年 小野蘭山「名著(本草綱目啓蒙)48巻...」
昭和4年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和5年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和6年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和7年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和8年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和9年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和10年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和11年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和12年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和13年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和14年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和15年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和16年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和17年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和18年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和19年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和20年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和21年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和22年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和23年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和24年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和25年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和26年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和27年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和28年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和29年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和30年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和31年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和32年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和33年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和34年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」
昭和35年 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」

(開申)方ガ布達サル。
内務省ニテ全圖ノ社寺ノ文庫經蔵ニ
ツキ書目ヲ録上セシメルコトヲ通達
設立:秋田書籍館。(縣立師範學校所
屬,15年獨立シテ秋田書籍館トナリ,
18-9年頃廢館);龍谷大學團(1);高
知縣立高知書籍館(21年高知團ト改
メテ教育會經營,大4縣立團トナル)
明治13年(2540) 7月東京府書籍館ヲ文
部省ノ所轄トナシ,東京團ト改稱。
12月教育令改正サレ團ノ規定モ改メ
ラル。
設立:栃木縣書籍總覽所。
明治14年(2541) 1月文部省達「府縣立
學校幼稚圖書館設置廢止規則」及
「同規則起草心得」ガ公布。
京都御苑内ノ近衛家ノ東山文庫ヲ御
所内ニ移築,舊稱ノマ、東山
御文庫ト稱セラル。
5月淺草文庫借寬差止トナル。
設立:宮城縣立宮城書籍館。(師範學
校内)(7)40年宮城縣團ト改稱。
現存府縣立團中ノ最古)。
明治15年(2542) 9月上野博物館書籍室
ニ公開ス。
12月文部省ニテ各府縣學務課長ヲ學
校長ヲ招集シテ學事ノ示諭シタ時、
文部少輔九鬼隆一ハ書籍館ノ經營ヲ
モ訓示シタ。
設立:神宮皇學館團(4);駒澤大學
團(10);大谷大學團;東京專門學校
團(35年早稻田大學トナル)。
明治16年(2543) 設立:函館圖書總覽所
(思齋會)。
明治17年(2544) 7月文部省達「書籍館
圖書目錄編製差出」ヲ府縣ニ達シ公
私立書籍館17年末調査分類目錄ヲ要
求ス。
内閣文庫設立,舊紅葉山文庫,太政官

明治25年(2552) 3月日本文庫協會立
(明41日本圖書協會ト改稱)。
設立:千葉縣教育會附屬團(後大13
縣立團トナル);四高圖書課;大阪高
商團(昭4商大);東大團。
出版:西村竹間『圖書館管理法』。
明治26年(2553) 日本文庫協會「和漢書
目録編纂規則」ヲ定ム。
明治29年(2556) 外山正一「帝國團ヲ設
置スルノ建議案」ヲ貴族院ニ提出ス、
衆議院ニモ鈴木充美 外3名ガ「帝國
團設置ノ建議案」ガ提出サレタ。
設立:熊本縣立觀察館(物産館)圖書
室(明45縣立團トナル)。
明治30年(2557) 4月帝國團官制制定,
東京團ガ帝國團ト改稱ス。
2月外山正一「公開團費國庫補助法
案」ヲ貴族院ニ提出シ説明演說ス。
明治31年(2558) 設立:京都府立京都團
(舊京都府教育會團)(4)。
明治32年(2559) 11月勅令團令公布ス。
設立:秋田縣立團(4);私立松江團
(大8松江市(立)團トナル)(10);京
都帝大團(12)。
明治33年(2560) 2月京都帝大團内ニ關
西文庫協會創立。
設立:南葵文庫(侯爵徳川頼倫)(大
13東京帝大團ニ寄附);山梨縣教育
會附屬團(昭6縣立トナル);上野教
育會附屬團(前橋市)(大4前橋市立
團トナル);六高圖書課(8);私立福岡
團(廣瀬玄鎮)。
出版:文部省『圖書館管理法』田中
稻城稿)。
明治34年(2561) 4月關西文庫協會『東
壁』創刊(團ノ雜誌ノ嚆矢)第4號廢刊。
設立:(私立)成田團(1);七高圖書館

「天野敬太郎『図書館年表の研究』(『図書館界』一九七四年七月号)より」

昭和35年(1960) 河内高貴「書估尾崎雅嘉が『群書一覽』...」

日本図書館史年表

— 弥生時代～1959年 【編集復刻版】

A library chronology of the Japan : the Yayoi period -1959

図書館関係記録の達人たちによる参考図書／調べる道具の刊行

— 監修者のことば……藤野 幸雄 (東京農業大学総合研究所客員教授・図書館情報大学名誉教授)

およそ「年表」というものは、いかなるジャンルのものでも、眺めているだけで楽しいし面白い。記録された事実だけでなく、その背景にも想像が働くからである。代表的には「日本史年表」といったものを考えることができる。各種領域の「年表」は、研究者ならば手元におく必要があるが、一般市民にとっては、少なくとも「参考図書(調べる道具)」として、利用できる近くの公共図書館において欲しいものである。

このたび『日本図書館史年表』が編集復刻・刊行されることとなった。採録される記録は、昭和7年の『図書館研究』から1950年代までに発表された「図書館史」ならびに「関係事項」の年代記からのものであって、その内容は「記紀伝承」による第15代応神天皇の太古の時代より1950年代にわたる。こうした歴史記録は、「年表」にたよるよりほか容易に再現できるものではない。近世以前では、寄贈により図書を受け入れた蔵書家、もしくは、図書を利用した記録がほとんどであるが、江戸期以降になると「図書館」機能が整ってくる次第が明らかにされている。

「年表」の編纂には、その方針が問われるであろう。何を「関係事項」と見なすか、例えば、「文庫

の担当者(責任者)の生没年とか、利用者の肩書までが必要なのか、明治以降では、帝国大学図書館や大橋図書館の館長はもとより、係員までを記録に載せるべきなのか、図書館の制度的背景はどこまで記録すべきかを編纂者は「凡例」にはっきり書かねばならないであろう。

刊行される『日本図書館史年表』は、大正から昭和にかけて大阪市立図書館の司書であった「青年図書館員連盟」の会員田村盛一氏、および『日本書誌の書誌』で知られる天野敬太郎氏により発表された歴史記録を再録している。両人はともに図書館関係の記録の「達人」であった。とはいえ、年表の記録は、長年の探索のうえに成りたっている。編纂者はつねに関係文献を細心の注意力和確たる方針をもとに「収録」してゆかねばならないであろう。さらに、「参考図書」であるかぎり、それを根拠にして図書館史の研究論論文が書かれることになろう。記録は「また引き」でなく、正確でなければならない。こうした意味からも、田村氏および天野氏は図書館関係の記録をフルに利用できる立場にいた専門家であったし、年表作成の適任者であった。この年表は近場の図書館にあって欲しいものである。

1933-II 日本圖書史並ニ關係事項年代記(V) 107

■ 目次……

- 一、 田村盛一「日本図書館史並ニ關係事項年代記」1～6 (『図書館研究』1932-3年) *284～1931年
 - 1 [284～1319年] / 2 [1321～1798年] / 3 [1801～1904年] / 4 [1905～1931年]
 - 5 [索引及参考図書目録] / 6 [日本図書館史並ニ關係事項二関スル参考図書目録]
- 二、 天野敬太郎「日本図書館年表」(『図書館総覧』1938年) *285～1937年
- 三、 天野敬太郎「日本図書館年表」(『図書館総覧』1951年) *1938～1951年
- 四、 『図書館関係年表』 *1945～1959年
 - 日米関係年表／組織・活動に関する年表／職員養成年表／戦後国立大学を中心とした図書館年表
 - 国立大学図書館関係事項／学校図書館関係年表／図書館行財政関係年表

※編者略歴

田村 盛一 (たむら・もりいち) 1893-1970
1893年山口市生。1908年山口県立山口図書館、佐野友三郎館長の下で山口図書館の隆盛期を支えた。1946年山口県農業試験場。著書に『山口図書館五拾年略史』(農林省農業総合研究所、1953年)、『初代館長佐野友三郎氏の業績』(山口県教育財団、1983年)などがある。

天野 敬太郎 (あまの・けいたろう) 1901-1992
1901年京都市生。1924年京都帝国大学司書、1948年関西大学図書課長、1967年東洋大学教授。主要編著書に『大東亜資料総覧』(大雅堂、1944年)、『雑誌新聞文献事典』(金沢文圃閣、1999年)、『図書館学関係文献目録集成—明治大正昭和前期編』(金沢文圃閣、2001年)などがある。

宗観 1525
宋學 1871, 1901, 1091
宗祇法師 2150, 2155
宋元本 1674, 1855, 2297, 2474
2492, 2508, 2516, 2557
匠塾部教育會園 2561
草紙物語 Kanazawa Bumpokaku 287
藏書印のはじめ 482
藏書家(個人別)の蔵書目録 2516
藏書目録 2490
藏書目録 2516
藏書目録 2533
Email kabumpo@beach.ocn.ne.jp 490
出版目録 http://kanazawa-bumpo-kaku.jimdo.com/ 2538
書籍目録 1308
實川凌七 589
續後拾遺和歌集 1985
續古今和歌集 1925

金沢文圃閣
〒920-0867 金沢市長土塀2-16-30
Tel 076-261-8884 / Fax 233-3111
Email kabumpo@beach.ocn.ne.jp
出版目録 http://kanazawa-bumpo-kaku.jimdo.com/

直接小間までお申し込みください。
価格は税別 043/06/4000
図版は本書より

書一部ヲ書籍館へ進致セシム。
7月文部省博覽會事務局ガ浅草、
米塚ヲ書籍貯藏所トシテ舊聖堂、
籍14萬卷ヲ移シテ浅草文庫ト稱シ
開ス、コレ第4ノ浅草文庫(17代
閣文庫へ納ル)

明治8年(2535) 2月書籍館ヲ博覽會
事務局へ合併ヲ止メ文部省所轄トシ
東京書籍館ト改稱ス。

11月博物館所屬ノ浅草文庫ヲ設立
一般ニ借覽ヲ許ス。

内務省中ニ圖書寮ヲ置ク布告ガ發
ラレタ。(今ノ宮内省圖書寮ノ始
文部省准刻課へ納本シテ全國出版
書ハ必ズ其1本ヲ東京書籍館ニ送
スルコトナル。

明治9年(2536) 12月那珂通世ガ『藝
雜誌』ニ「書籍館」ト題シテ米國
圖書院ノ翻譯文ヲ發表ス。
東京書籍館書目及漢書之部ガ始
刊行サル。

設立: 學智院團。

明治10(2537) 2月2日 明治天皇皇
集書院ニ行幸アラセラル。

2月文部省所管ノ東京書籍館東京
ノ所管トナリ東京府書籍館ト稱シ
12月文部大輔田中不二磨ガ「公立
書籍館ノ設置ヲ要ス」トノ意見ヲ發
文部省經營ノ東京教育館書籍館
ニ圖書室)ガ有料公開サル。(18年
京圖ト合併, 19年圖書ノ閱覽停止。
年東京高師ノ附屬トナル)

明治11年(2538) 設立: 静岡書籍館。
立師範學校所屬)(大11年葵文庫設
ニ際シ移管)

明治12年(2539) 9月教育令制定、
中ニテ初メテ一般圖ガ規定サレ
11月公立及私立書籍館設置廢止

文庫、昌平坂學問所文庫、千代田
等ノ圖書ヲ集メタモノ。
設立: 第一高等學校圖書室。

明治18年(2545) 6月東京聖、教育館
館ト合併シテ上野ニ移ル。
8月教育令改正サレ圖書ノ規定モ
ル。

設立: 中央大學團(9)。

明治19年(2546) 1月上野博物館書籍
書藏借覽停止。

4月諸學校通則(教育令ニ代ルモ
ガ公布サレコノ中ニ圖書ノ規定サ
設立: 東京高商團(大9商大)。

明治20年(2547) 東京團獨立ス。
東京團田中稻城ガ和漢洋分類表
夫シテ八門分類表ヲ發表ス。

設立: 大日本教育會附屬書籍館
ニ教育團ト改稱); 東京高師團。

明治21年(2548) 田中稻城ハ文部省
米英ハ圖書研究ノタメニ留學(2
歸朝)。

設立: 同志社大學團(11)。

明治22年(2549) 3月海軍中央文庫
制制定。

3月東京團官制制定。
設立: 山口高等學校(今ノ山口高
ノ前身)圖書部; (海軍省)海軍文
(7); 五高圖書課; 東京美術學校文
(4)。

明治23年(2550) 内務省所管ノ千代田
庫ヲ内閣文庫ニ移ス。

設立: 京都府教育會團(31年府立
トナル); 衆議院文庫; 貴族院文庫
學院大學團; 東京女子高師團。

明治24年(2551) 紅葉山及昌平坂兩
ノ貴重書ヲ宮内省圖書寮及ビ内
閣文庫ニ移ス。